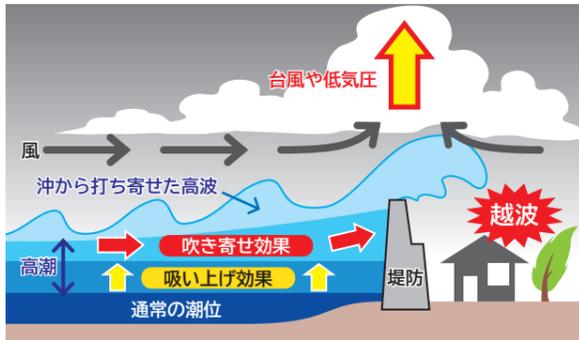


高潮災害とは

高潮とは、台風や発達した低気圧等の接近により、海面が平常時より著しく高くなる現象です。高潮が発生すると、その高い潮位と波浪・強風により、海水が堤防を越える場合があり、陸地が浸水する可能性が高くなります。また、高潮が発生している海域に流れ込む河川では、高い潮位や波浪により河川の流れが阻害されるため、氾濫が発生し、海岸から離れた内陸部まで被害を及ぼすこともあります。

高潮発生メカニズムと潮位

高潮が発生する要因は、「吸い上げ効果」と「吹き寄せ効果」の2つがあり、それぞれの影響で、場所によって高潮の高さが変わってきます。



吸い上げ効果

台風の中心気圧は周辺部より低いため、周辺部の大気は海面を押し付け、中心付近の大気は海面を吸い上げるように働きます。この結果、台風の中心付近の海面が上昇します。

吹き寄せ効果

台風などによる強い風が海岸部に向け長時間吹き続けると、風下の海岸に海水を吹き寄せ、海面が上昇します。

高潮災害への備え

日頃から

この四国中央市防災マップに掲載している高潮ハザードマップで、お住いの場所における浸水深等を確認し、退避避難が必要なのかを判断しておきましょう。

台風が近づいたとき

台風や発達した低気圧等が近接すると、短時間のうちに急激な潮位上昇が発生することがあります。また、暴風が吹き始めると、屋外への避難が困難となります。

高潮の浸水想定区域にお住いの方は、台風や低気圧等の接近が予想されているときには、高潮警報・注意報や市からの避難情報等を確認し、暴風が吹き始めるまでに安全な場所へ早めに避難しましょう。

気象状況	台風最接近の1日～半日前	暴風域に入る数時間前	台風最接近の数時間前	台風最接近高潮となる	高潮による浸水が発生
気象庁の情報	高潮注意報 高潮警報に切り替える可能性が高い 高潮注意報	吹き始めるまでに避難 高齢者等は暴風が	高潮警報 (または高潮特別警報)	警戒レベル4までに必ず避難	緊急安全確保
市からの情報	暴風警報に切り替える可能性が高い 強風注意報		暴風警報 (または暴風特別警報)		
市民の皆様が取るべき行動	警戒レベル2 自らの避難行動を確認	警戒レベル3 危険な場所から高齢者等は避難	警戒レベル4 危険な場所から全員避難	警戒レベル5 命の危険 直ちに安全確保	

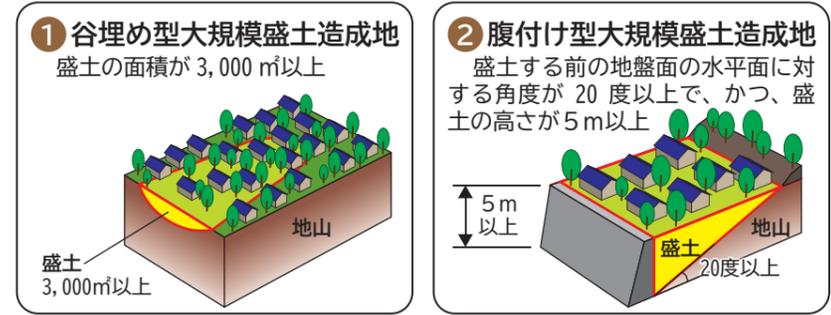
大規模盛土造成地とは

新潟県中越地震や東日本大震災等において、谷や沢を埋めた造成宅地や大規模な盛土による造成地で、盛土全体の地すべり変動(滑動崩落)が生じ、がけ崩れや土砂の流出による被害が発生しました。

そのため、大規模盛土造成地が身近にあることを知っていただき、防災意識を高め、災害の未然防止や被害の軽減につなげていくため、大規模盛土造成地の調査を行い公表しています。

大規模盛土造成地の抽出

谷や沢を埋め立て、側面に谷部の斜面が存在することが多い谷埋め盛土(谷埋め型)、傾斜地盤上の高さの高い盛土(腹付け型)のうち、右のいずれかの条件を満たすものを、大規模盛土造成地と位置付けています。



大規模盛土造成地への備え

大規模盛土造成地は、造成前と造成後の地形図などを重ね合わせるにより抽出したもので、その土地が直ちに危険であるということではありませんが、南海トラフ巨大地震等の発生時には、がけ崩れや土砂の流出等のおそれがあります。

この四国中央市防災マップに大規模盛土造成地の位置と範囲を示していますので、身近な場所における大規模盛土造成地の有無を確認しておきましょう。

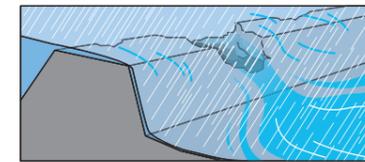
ため池

ため池の決壊

ため池の決壊は、地震・豪雨などが原因で、堤体に亀裂や滑落が起こり、そこからの漏水により破損箇所が大きくなり貯水圧に耐え切れず決壊します。

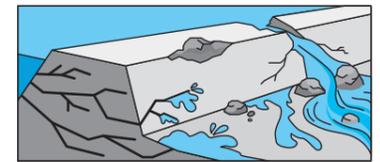
大雨の場合

ため池の水位が上昇して堤防を越えた水が堤防を侵食・決壊させる。



地震の場合

揺れによって堤防に亀裂が発生したり、地盤の液状化のために堤防が決壊したりする。



ため池災害への備え

四国中央市では、ため池決壊時及び決壊のおそれがある場合の速やかな避難と、日頃から災害に対する意識をもってもらうために、「ため池ハザードマップ」を整備しています。

この四国中央市防災マップでは浸水想定区域の範囲を示していますので、想定される浸水深などについては、それぞれのため池ハザードマップで確認し、備えに取り組みましょう。



ため池ハザードマップ (市HP)

